

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	協働で進めるまちづくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成29年度	テーマ	地域活性化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	当町は、24の自治区で構成されており、区単位で自治組織が形成され、公民館活動や各種自治活動が推進されている。それぞれの区は古くから独自のコミュニティが形成され、コミュニティでの活動やイベントの実施等の自治会活動が活発に行われているが、人口減少、高齢化、若年層の流出、核家族化が進んでおり、地域活力の形成維持のための支援が求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	「協働で進めるまちづくり」のため、地域コミュニティの振興を図り元気な地域をつくるとともに、まちづくりを担う多様な団体・事業者等の育成に努める。							
	総事業費（千円）	287,988	本年度事業費（千円）	13,366	交付金額（千円）	2,549		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	住民自治支援事業	交付対象事業	まちづくり人づくり補助金の助成			町内の自治会など19事業を支援。		
	郷土芸能祭事業	交付対象事業	合併10周年を記念した郷土芸能祭の実施。			郷土芸能祭の実施。		
	職員出前講座	関連事業	職員が行っている様々な仕事の内容や、専門知識を住民の方からの要望で出向き説明をする。			町内各所で実施。71団体の依頼。		
住民協働事業	地区公民館活動助成事業	交付対象事業	地区公民館への助成事業。			20地区公民館、児童館へ助成。		
	与謝野町第2次総合計画策定事業	交付対象事業	総合計画の策定。			総合計画の策定。		
	町政懇談会	関連事業	自治会単位で住民との懇談会を開催。			町内24会場。577人の住民参加。		
住民が取り組む事業								
成果指標①	成果指標の目標数値	まちづくり人づくり補助金「支援団体」の増加 (H23：22団体⇒H29：30団体)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	平成28年度：21団体			
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標数値には及んでいないのと、自治会以外の申請が少ないことが要因。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)	-		
成果指標②	成果指標の目標数値	町ホームページのアクセス件数の増加 (H23：16万件⇒H29：18万件 年間)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	平成28年度：38万件/年			
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	前年度から5万件的増となっており、大きく目標数値を達成している。近年はSNSとの連携も行っていることが増加の要因とみている。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)	-		
成果指標③	成果指標の目標数値	職員出前講座の増加 (H23：127団体⇒H29：130団体 年間)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	平成28年度：71団体/年			
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	目標数値には及んでおらず、制度の周知不足が考えられる。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)	-		
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	住民自治活動の拠点となる公民館をはじめとするコミュニティ施設などの整備を、住民自らが必要に応じて行うことで、公民館活動の充実に繋がった。また、町政懇談会の実施により、住民対話の機会も増え、直に意見や要望を聞くなど、住民の声を直接町政に反映するきっかけとなった。まちづくり人づくり補助金の活用については、各自治会以外のまちづくり団体へも制度周知を行い、活用団体数の増加に繋げるよう努めていく。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：与謝野町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	町政懇談会などの関連事業により住民が本当に望むことを意見してもらい、本当に必要な施策の実現に繋げることができる。
	府と市町村等との連携に資する成果	地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。
	住民の自治意識を高める成果	住民自治活動の推進において必要な環境整備に対して支援を行うことができ、住民独自の豊かな発想による活動に繋がる。
	リーディング・モデル成果	地域コミュニティの活性化には、その中核となる施設の整備が不可欠である。これらの施設は子供や高齢者も多く利用する機会があるため、安全化・バリアフリー化を進め、多くの住民にとって利用し易い施設とすることで、地域コミュニティ充実の役割を十分に発揮できるものとなる。
	広域的波及成果	住民自治の拠点となる地域の集会施設等を整備することで、その施設を拠点とした様々な地域活動を実施できることとなり、地域住民が新たな活躍ができるきっかけとなる。住民が元気で活躍できるまちには笑顔が溢れ、誰もが住みたいと思えるまちに、また一歩近づくものである。
	行財政改革に資する成果	住民自治の拠点となる施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。
	その他の成果	